

ACCESS TO ACMOS INC.



- ・地下鉄 九段下駅下車 6番出口から徒歩3分
(東京メトロ 東西線・半蔵門線 都営地下鉄 新宿線)
- ・地下鉄 神保町駅下車 A1番出口から徒歩5分
(東京メトロ 半蔵門線 都営地下鉄 新宿線・三田線)



東京都千代田区神田神保町三丁目23番地 神保町錦明ビル
TEL.03-3239-2377 FAX.03-5275-2890



株主のみなさまへ

アクモスグループの新鮮情報をお伝えるIRマガジン
アクモス ハイウェイ



ACMOS Highway



[特集]
飯島社長に聞く

[グループ事業紹介]

最適な“ITと人材”をお客様へ
アクモスグループの事業と企業

[株主様アンケートのお願い]

第1回アンケート回収率15%!
第2回株主様アンケートにご協力ください

[アクモス・ジャンクション]

- インタビュー
エクスカル
代表取締役社長 朱雀 二郎
- トピックス
茨城ソフトウェア開発
30周年感謝の集い
- オフィス訪問
アクシスコンサルティング



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、「アクモス ハイウェイ」を、中間決算期末現在の株主のみなさまにお届けすることになりました。「アクモス ハイウェイ」は、グループの“人”と“事業”に焦点を当てて、アクモスグループの情報をご紹介します。

当社グループでは、平成20(2008)年6月期までに「連結売上高100億円、連結経常利益10億円、子会社総数10社」を達成することをグループ目標として掲げております。

今後もグループ各社とともに目標達成に向けて、一層精進してまいりますので、株主のみなさまには、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成18年3月
代表取締役 飯島 秀幸

アクモス ハイウェイ
AH01
2006 SPRING

目次

- P 1 株主のみなさまへ
- P 2 グループ業績ハイライト
- P 3 [特集]
飯島社長に聞く
- P 6 グループ事業紹介
- P11 アクモス・ジャンクション
 - インタビュー
 - トピックス
 - オフィス訪問
- P13 株主様アンケートのお願い
- P14 会社概要／株主メモ

◆ 連結経営成績 ◆

	第12期末 (’03/6)	第13期末 (’04/6)	第14期末 (’05/6)	第14期中間 (’04/12)	第15期中間 (’05/12)
売上高 (百万円)	1,306	1,446	2,064	671	1,029
経常利益 (百万円)	△193	53	80	△35	△25
中間(当期)純利益 (百万円)	△240	6	36	△29	21
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	△18,729.92	526.48	493.47	△429.99	233.35

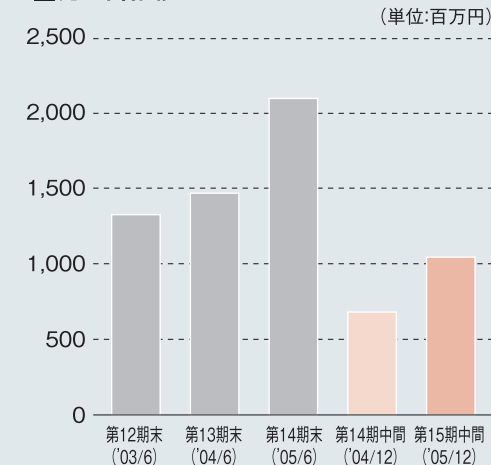
*△印は損失を示しております。

◆ 当中間決算のポイント ◆

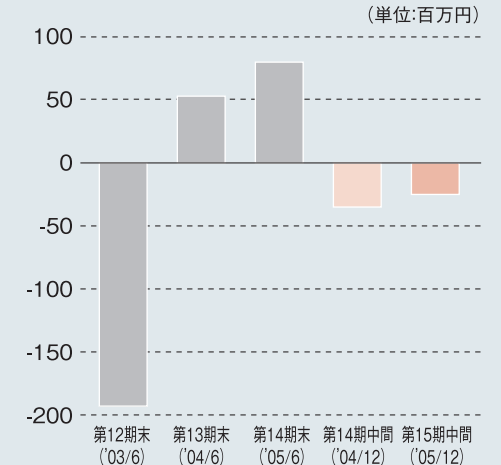
日本経済の景気回復が追風となり、上半期売上高10億円達成

1. 売上高1,029百万円(前年同期比53.3%増)
2. 経常損失25百万円(前年同期は経常損失35百万円)
3. 子会社株式売却益の計上により、中間純利益は21百万円(前年同期は中間純損失29百万円)

■ 売上高推移



■ 経常利益推移





株式公開10周年 これからのアクモス

平成8(1996)年12月25日に店頭市場(現ジャスダック証券取引所)に株式を公開してからちょうど10年目の節目を迎えます。平成20(2008)年6月期までの目標「連結売上高100億円、連結経常利益10億円、子会社総数10社」の達成に取り組む代表取締役社長 飯島秀幸に聞きます。

Q 株式公開からの10年を振り返っていかがですか？

平成8(1996)年のクリスマスに半導体の開発企業として株式を公開いたしました。その後平成15(2003)年に半導体事業からは撤退いたしました。

また、平成11(1999)年に連邦経営を経営方針として採用し、平成12(2000)年4月に純粋持株会社となりましたが、以来M&Aによって6社を子会社に1社を売却しております。

10年間の最大の課題は、収益力ある事業の柱を作ることでしたが、いまだ道半ばです。期待した事業が予想に反して落ち込んだり、小さく生んだ事業が期待以上の活躍をしてくれたり、予想通りにはいかないものです。

私が、この10年間で学んだことは、会社が成長するも衰退するも社長のリーダーシップ次第だということです。「社長力」の評価は、グループの成長の要であるM&Aの実施においても重要視しております。

Q 平成20(2008)年6月期の目標達成のためのM&A戦略についてどのようにお考えですか？

これまで毎年2社を目標にM&Aによって子会社を増やしてきました。今後はそれをさらに加速して行きたいと考えています。

平成20(2008)年6月期までに、既存の子会社の成長によって50億円の売上を達成し、残りの50億円の売上はM&Aによって達成することを目標にしています。収益力も課題としておりますので利益貢献度を重視しています。収益力があり、将来性が期待できる会社が理想ですが、現実には中々こちらに都合のいい対象会社はありません。そこで、アクモスグループの参加条件を基本としながら成長意欲と実行力のある経営者がいる会社も含めて、M&Aのターゲットとします。

アクモスグループの参加条件

- 1 専門サービス事業であること
- 2 経常利益基準で原則黒字であること
- 3 コンプライアンスを重視した経営の透明性

Q 現在のアクモスグループについてご説明ください。

グループの事業分野は、情報技術事業と人材事業の二つの事業が核となっており、他に経営コンサルティング事業とその他の事業があります。

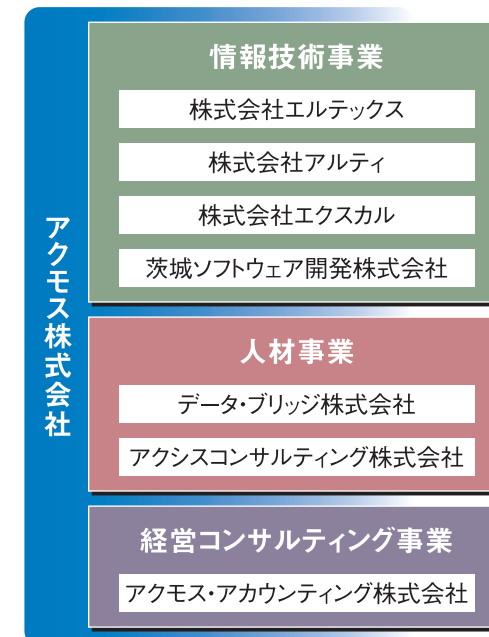
情報技術事業は、システム開発を中心に行っている企業、携帯電話のコンテンツサービスを行っている企業それとIT製品の規格認定サービスなど検証サービスを行っている企業があります。

人材事業は、人材紹介を中心に行っている企業と採用アウトソーシングを行っている企業があります。

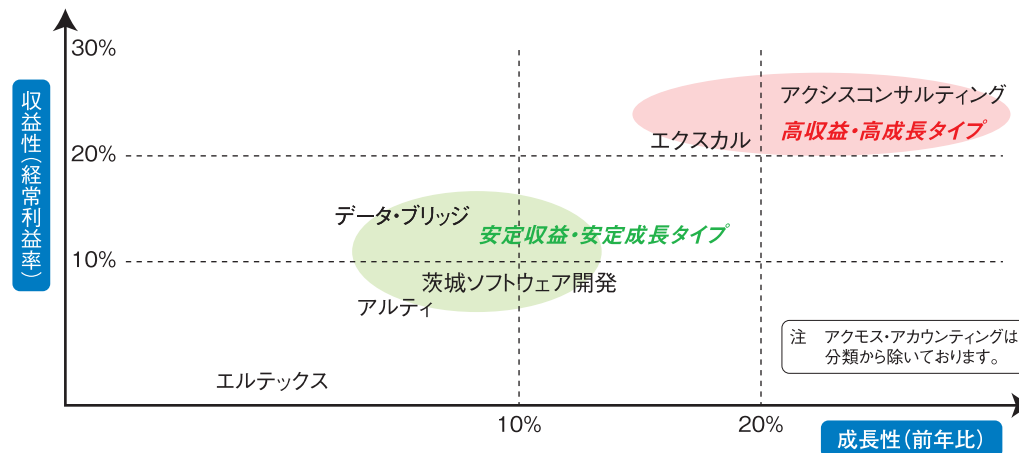
今年度の重点支援会社は、情報技術事業では、茨城ソフトウェア開発株式会社、人材事業ではアクシスコンサルティング株式会社です。

この2社が、グループを支える中核会社になってくれることを期待しています。

●アクモスグループ概況(平成17年12月31日現在)



●ビジネスタイプ別子会社分類





**Q M&Aの進め方とコンプライアンスに関して
お聞きします。**

これまで、株式交換により子会社化した会社は3社(平成17年12月末日現在)になります。

年明け早々株式交換、株式分割や投資組合を悪用した事件が大きな話題となりました。

当社は、わが国で初めて株式交換を実施した企業(同日実施の2社のうち1社)として、あくまでコンプライアンスを重視したフェアなM&Aを実施しております。グループ企業の参加条件にもコンプライアンスを重視した経営の透明性を掲げております。

また相手先の企業評価には、当社の会計監査人とは別の公認会計士や監査法人にデューデリジェンスを依頼し、公正な企業評価に努めております。

**Q アクモスグループの親会社としての
取り組みについてご説明ください。**

親会社の最も重要な仕事は、子会社の成長支援です。子会社では、原則毎月取締役会を開催しておりますが、親会社からは私ができる限り出席し子会社の状況把握と取締役間のコミュニケーションに努めています。また、子会社の経営的課題は、常に一緒に考え解決策を見出そうとしています。

子会社を増やすことも親会社の仕事のひとつです。今後は成長した子会社が新たに孫会社を設立することに協力するのも親会社の仕事になると思っています。また、子会社が株式公開を目指す場合には、親会社として積極的に支援していきます。

Q 株主のみなさまに一言お願いします。

株主のみなさまには、日頃からご支援並びにご鞭撻をいただき誠にありがとうございます。

株価的にはみなさまのご期待に合う水準に至っていませんが、企業価値を高める不断の努力によって平成20(2008)年6月期までには、連結売上高100億円・連結経常利益10億円の目標を達成したいと考えています。

現在、事業統括室において「ステップアップ☆2008プラン」を策定中で、今秋発行の2006年6月期コーポレートガイドにおいて内容をご紹介します予定です。

今後とも引き続き変わらぬご支援をお願いいたします。



グループ事業紹介

☑事業内容一覧

事業別セグメント	会社名	事業内容
情報技術事業	エルテックス	<ul style="list-style-type: none"> ●システムインテグレーション <ul style="list-style-type: none"> ▪ e-コマース/ビジネスシステム/先端技術応用システム/ ▪ マネージドハウジングサービス/ASPサービス ●ERP <ul style="list-style-type: none"> ▪ オラクル EBS/SAP Business One ●教育ソリューション <ul style="list-style-type: none"> ▪ Master Eye
	アルティ	<ul style="list-style-type: none"> ●モバイルインターネットコンテンツ企画、開発 <ul style="list-style-type: none"> ▪ ミステリーゲーム配信サービス(NTTドコモ/ボーダフォン/au) ▪ 着信メロディ配信サービス(NTTドコモ/ボーダフォン)他 ●オンラインゲーム <ul style="list-style-type: none"> ▪ PCオンラインゲーム「ワールド・ネバーランド」 ●キャラクター版権の管理
	エクスカル	<ul style="list-style-type: none"> ●IT製品の規格認定試験サービス <ul style="list-style-type: none"> ▪ USB2.0/xD-ピクチャーカード/DLNA他 ●第三者検証サービス <ul style="list-style-type: none"> ▪ 製品基本検証/IT製品・コンピューター融合検証/比較検証 ▪ RCA(原因追及支援)サービス他 ●コンサルタントサービス
人材事業	データ・ブリッジ	<ul style="list-style-type: none"> ●ITコンサルティング <ul style="list-style-type: none"> ▪ システム開発/ネットワーク構築/セキュリティ構築・診断他 ●オリジナルアプリケーションパッケージ開発・販売 ●各種認証取得コンサルティング <ul style="list-style-type: none"> ▪ ISO9001/プライバシーマーク ●パソコン教室「わかるとできる」
	アクシス コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ●人材紹介・人材コンサルティング事業 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 転職支援業務/キャリアアップ支援業務
経営コンサル ティング事業	アクモス・ アカウンティング	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ企業向け管理・経理業務サービス ●経営コンサルティング <ul style="list-style-type: none"> ▪ M&Aを中心としたコンサルティング業務他

ITソリューションをお客様に

株式会社エルテックス

ELTEX, Inc.

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパーク イーストタワー14階
TEL:045-332-6655



- 設立:昭和60(1985)年12月14日
- 資本金:1億2,500万円
- 代表者:代表取締役 犬飼 邦夫

ミステリーゲーム・着信メロディをあなたの携帯電話に

株式会社アルティ

althi Inc.

本社:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町
三丁目23番地 神保町錦明ビル
TEL:03-5214-2058
福岡開発本部:〒814-0001 福岡市早良区百道浜
二丁目1番22号 福岡SRPビル8階
TEL:092-846-3381



- 設立:平成12年(2000)年4月7日
- 資本金:1億1,450万円
- 代表者:代表取締役 宮崎 慈彦

IT製品の検証ならおまかせ

株式会社エクスカル

XXCAL JAPAN Inc.

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパーク イーストタワー14階
TEL:045-332-7333



- 設立:平成10(1998)年3月30日
- 資本金:2,600万円
- 代表者:代表取締役会長 犬飼 邦夫
代表取締役社長 朱雀 二郎

茨城県下のリーディングカンパニーを目指して

茨城ソフトウェア開発株式会社

Ibaraki Software Development Co., Ltd.

本社:〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7
TEL:029-270-5555
東京事業所:〒108-0014 東京都港区芝四丁目6番3号
綿貫ビル3階
TEL:03-5730-8301
つくば事業所:〒305-0045 茨城県つくば市梅園二丁目7番3号
つくばシティビル6階
TEL:029-860-2021

- 設立:昭和51(1976)年10月1日
- 資本金:2,200万円
- 代表者:代表取締役 宮本 治



企業の人材採用業務を代行

データ・ブリッジ株式会社

Data-Bridge Co., Ltd.

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地
神保町錦明ビル

TEL: 03-5211-6271

- 設立:平成12(2000)年3月3日
- 資本金:9,090万円
- 代表者:代表取締役 飯島 秀幸
代表取締役社長 岡本 哲男



<http://www.data-bridge.net>

最適な人材を最適な企業へ

アクシスコンサルティング株式会社

AXIS CONSULTING CORPORATION

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地
神保町錦明ビル

TEL: 03-5211-1090

- 設立:平成14(2002)年4月18日
- 資本金:3,000万円
- 代表者:代表取締役 山尾 幸弘



<http://www.axc.ne.jp>

グループの管理業務を支える

アクモス・アカウンティング株式会社

ACMOS Accounting Inc.

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地
神保町錦明ビル

TEL: 03-5275-2860

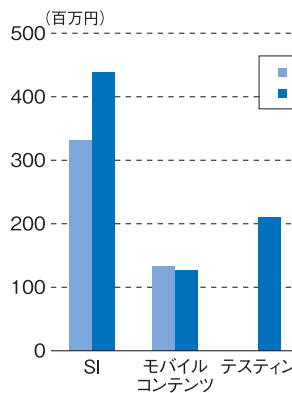
- 設立:昭和55(1980)年1月30日
- 資本金:1,000万円
- 代表者:代表取締役 飯島 秀幸



☒事業の種類別営業の概況

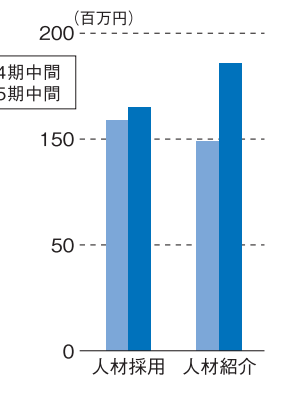
情報技術事業

第15期中間売上高 778百万円

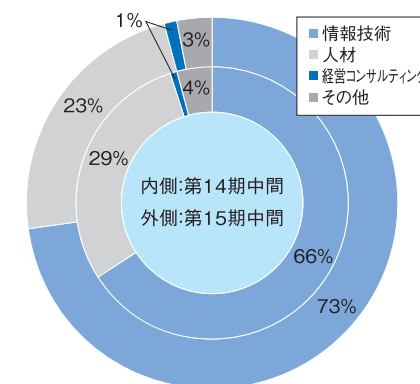


人材事業

第15期中間売上高 252百万円



事業別売上高構成比(全事業)



(注)テスト事業は、第14期下半期から連結対象の事業となりました。

インタビュー

株式会社エクスカル 代表取締役社長 朱雀 二郎

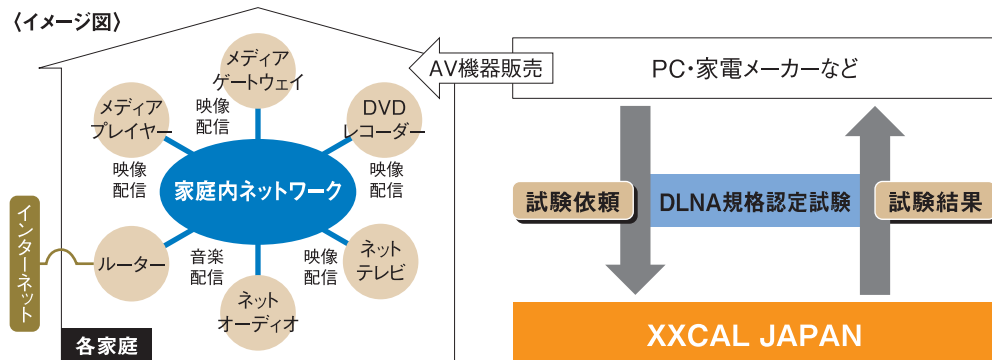
DLNA規格認定試験*サービス開始～ネットワーク化するデジタル情報家電の普及の鍵～

株式会社エクスカルの代表取締役社長 朱雀二郎に事業内容や今後の展開を聞きました。

● IT製品の検証サービスを専門に行っているようですが、具体的にはどのようなサービスですか？

大きく分けると規格認定、第三者検証それにコンサルタントサービスの三つです。規格認定では、お客様の製品が決められた規格に適合しているかどうかの検証を行います。みなさまにもおなじみのUSB2.0やxD-ピクチャーカードなどの規格認定がこれにあたります。第三者検証サービスでは、本当に様々な検証試験を行っておりますのでほんの一例になりますが、ユニークなサービスとしては、消費者モニターの方に当社内の

モニタールームで実際の製品を試していただき、製品の「使い易さ」などを評価するユーザビリティテストなども行っております。コンサルタントサービスは、個々のお客様の抱える問題解決のためのサービスですが、開発のデバッグ段階から当社のコンサルタントが関与し製品開発期間の短縮や信頼性の向上に貢献しております。



● DLNA規格認定試験サービスを開始されたそうですね？

はい。昨年9月にロゴ認定企業として公認されまして、すでに規格認定試験サービスを始めております。DLNAとは、「デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス」のそれぞれの頭文字をつなげた略称です。情報家電という言葉をご存知の方も多いと思いますが、DLNAは、ご家庭内のネットワークで色々なメーカーの製品を自在に使用するために必要な相互接続環境を

検証するための標準規格を決めている業界横断的な団体です。

DLNA規格認定試験サービスでは、ご家庭内のネットワークで利用されるオーディオ・ビジュアル機器や生活家電がDLNAの規格に適合しているかどうかの試験を行います。

● 今後について一言どうぞ。

おかげ様で当社は国内外の数多くの優良企業様とお取引いただいております。今後もお客様から寄せられた信頼に応え一層サービスの充実を図って行きたいと考えています。今後規格認定試験サービス分野をさらに伸ばして行くとともに、規格認定試験で培った技術やノウハウを最大限に活用して周辺領域の検証試験サービスやコンサルティングサービスを拡充して行きたいと考えています。

また更なる経営基盤の強化のためには次世代の規格についても試験企業として認定を取得する必要がありますが、米国のパートナー企業であるNTS

*DLNA (Digital Living Network Alliance) 規格認定試験—デジタル機器設計方法ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン Ver1.0」の規格に適合しているかどうかの試験を行う。エクスカルは、DLNA公認の認定企業として日本はもとより海外メーカーにもサービスを提供。



株式会社 エクスカル
代表取締役社長
朱雀 二郎
Jiro Sujaku

(National Technical Systems Inc.)社をはじめ関係する企業・団体とも協力して、次世代規格に関する認定試験サービスの充実も図って行きたいと思っております。

トピックス

茨城ソフトウェア開発株式会社 30周年感謝の集い



平成17年12月3日、情報技術事業の茨城ソフトウェア開発株式会社の創立30周年を記念し「おかげさまで30年」感謝の集い」が開かれました。

従業員家族も含め約300名が参加し、マジックショー、やんさ太鼓のパフォーマンスや、くじ引き大会など賑やかなイベントとなりました。

最後にサプライズ企画として、役員従業員から宮本治社長に記念品の贈呈がありました。



マジックショー



マジックに大喜びの子供たち



やんさ太鼓の皆さん

オフィス訪問

アクシスコンサルティング株式会社

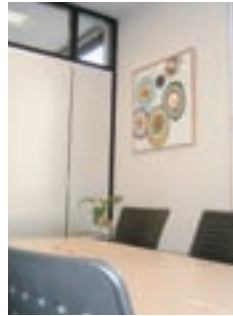


人材事業(人材紹介)のアクシスコンサルティング株式会社の事務所を訪ねました。アクモス本社のある神保町錦明ビルの7階フロアの一部を使用しています。



事務室部分は、山尾社長以下、全役職員の机が業務チームごとに配置されており、壁面には訪問先企業などのリストなどが掲げてあり、さながらアクシスの最前線の雰囲気です。

昨年秋の改装でミーティングルームは6つになりました。転職希望者の方との面接や会議に利用されています。BGMが流れる中、リラックスした状態で人材の“その人らしさ”が発揮できるよう配慮しています。



ミーティングルーム(緑)→



アクモス本社内の共用会議室を利用したチームミーティングや部門会議を定期的に行っています。

株主様アンケートのお願い

第1回株主様アンケートでは、数多くのお声から貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。本誌「アクモス ハイウェイ」は、印刷物の定期発行を望む多くのお声によって産声をあげました。

株主のお声に耳を傾け、今後の事業活動やIR活動に活かしていくため、アンケートを継続

して行くことになりました。お手数ですが同封のアンケートハガキに必要事項をご記入の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケート結果の主な内容は、今秋発行予定の2006年6月期コーポレートガイドの誌上においてお知らせいたします。

会社概要

商号	アクモス株式会社		
設立	平成3年8月23日		
資本金*1	6億9,325万円		
本店	東京都千代田区神田神保町三丁目23番地 神保町錦明ビル		
役員*2	代表取締役社長 取締役 取締役(社外) 監査役(非常勤)	飯島 秀幸 金子 登志雄 島田 直樹 斎藤 知之	専務取締役 取締役(社外) 監査役(常勤) 監査役(非常勤)
			犬飼 邦夫 柴田 洋一 荻原 啓一 平野 喜久臣

会計監査人 ビーエー東京監査法人

*1 資本金:平成17年12月31日現在の金額です。
*2 役員:平成18年3月1日現在の役員状況です。

株主メモ

決算期	6月30日
定時株主総会	決算期末から三ヶ月以内
公告方法	日本経済新聞
決算公告	http://www.acmos.co.jp/index.html
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店